

いつか  
かつて  
と  
なりて



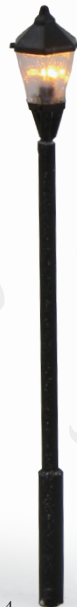
1



2



3



4

茨木市立ギャラリー

SOCIO-1 2F  
ウインドウ

現代美術 茨木公式WEBサイト  
<http://ibaraki-genbi-art.jp/>

主催 茨木市、茨木現代美術展実行委員会  
デザイナー 大西正一  
キュレーター 平野 成悟

今村遼佑  
堀尾貞治

二〇二五年十二月二日 金  
二〇二六年一月五日 月

一〇:〇〇—一九:〇〇(最終日のみ一七時迄)

ICAW

IBARAKI  
CONTEMPORARY  
ART  
WEEKS

茨木アートブックウェア | real SOU |  
HUB-IBARAKI ART PROJECT |  
現代美術 茨木 キュレーション企画

このたび「現代美術―茨木」の企画展として、

茨木市立ギャラリーおよび

Socio1 2F ウィンドウの

ふたつを会場に、

美術家の

今村遼佑と堀尾貞治による

二人展

「いつかかつてとなりて」を

開催いたします。

本展タイトルは、未来と過去とが折り重なってできる

内的な時間の厚みと、同時に漸進していく外的な時間の運行とを

示唆しつつ、主語の不在によって捉え難い「いま」の輪郭を

暗に浮かび上がらせようとしています。

ここでいう「内的な時間」とは、記憶を重要な要件として、

前後に分節化されない相互浸透的な時間のありかたを意味し、

「外的な時間」は時計によって空間化された、

計量可能で単線的な時間の尺度のことを指しています。

本展では、哲学者アンリ・ベルクソンが峻別した

この2つの時間へと交互に意識を傾けながら、

五感へとささやかに働きかける装置によって

再帰的な記憶の場面上演する今村の表現と、

日課だった制作行為の達成として「いま」という現在のな

感覚の連続性が結晶化した堀尾の作品を介して、

この世界／その感覚を書き留める方法について模索します。



5



6



7

今村遼佑 Ryosuke IMAMURA

一九八二年京都府生まれ。二〇〇七年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。日常に潜むかすかな出来事や現象を考察し、ものごとの確かさとは確かさのあわいを探索するような作品を手がける。インスタレーション、立体、映像、絵画など表現方法は主題に合わせて多岐にわたる。過去の主な展覧会に今村遼佑×光島貴之 感覚をめぐるリサーチ・プロジェクト（感覚の点P）展（渋谷公園通りギャラリー、東京、二〇一五）、「味ノ処」（神奈川県民ホール、神奈川県、二〇一三）、「セイアン・アーツ・アテンション16 Error of Reality」（成安造形大学、滋賀、二〇一三）、「エンカウンターふたつの個性」（Kasugami、五却のすりきり、京都文化博物館、京都、二〇一三）個展（永くで遠い、瞬きする間）（FENCH ARTS、京都、二〇一三）など。二〇一六年にボーラ美術振興財団の助成を受けてワルシャワに1年間滞在。

堀尾貞治 Sadaharu HORIO

一九三九年兵庫県生まれ。一九六六年に具体美術協会会員となり、一九七二年の解散まで参加。一九八五年頃からは「あたりまえのこと」という一貫したテーマのもとに国内外で年間約100回に及ぶ無数の個展、グループ展、パフォーマンスなどを行う。過去の主な展覧会に、Axi Vervoodt Gallery 個展（ベルギー・アントワープ、香港、二〇一八）、東アジア文化都市二〇一七京都・アジア回廊 現代美術展（堀尾貞治＋現場芸術集団 空気）（二条城、京都芸術センター、京都、二〇一七）「A Fewerish Era in Japanese Art」（BOZAR（リッセル美術センター、ベルギー・ブリュッセル、二〇一六）、個展「あたりまえのこと（今）」（Bプラザ美術館、神戸、二〇一四）、「Guati: Splendid Playground」（オーブニング・パフォーマンス・グッゲンハイム美術館、ニューヨーク、二〇一三）、横浜トリエンナーレ二〇一〇五（堀尾貞治＋現場芸術集団 空気）（連続 82日のパフォーマンス（山下ふ頭3号、4号上屋、神奈川県、二〇一五）、「あたりまえのこと」）（芦屋市立美術館、兵庫、二〇一三）

- 1 今村遼佑《どこかのこと》部分 | 2021 | モーター、Arduino、導線、拾ったもの、身の回りのもの
- 2 堀尾貞治《色塗り》1995 | 押しピン、アクリル絵具
- 3 堀尾貞治《色塗り》1998 | 鉄チューブ、アクリル絵具
- 4 今村遼佑《遠くの出来事》部分 | 2014 | ミニチュアの街灯、LED、ボールペン
- 5 堀尾貞治《色塗り》1995 | 押しピン、アクリル絵具
- 6 今村遼佑《雨の彫刻（塗料缶#1）》2013 | mixed media
- 7 今村遼佑《パケツと米》2016 | パケツ、iPad、石
- 8 堀尾貞治《色塗り》制作年不明 | 鉄等、アクリル絵具

茨木市立ギャラリー

Socio1 2F  
ウィンドウ

〒五六七〇八一六 大阪府茨木市永代町一五 阪急茨木市駅ロザヴィア2階、  
休館 水曜および二〇二五年二月二十八日から翌年一月四日まで。  
その他、臨時に休館することがあります

〒五六七〇八一六 大阪府茨木市永代町一五  
ツシオ12階、  
休館 会期中無休



8

